

\*\* 2011年7月作成（新様式第4版）（指定医薬品の削除）

\* 2007年3月作成（新様式第3版）

日本標準商品分類番号	
87273	
承認番号等	14400AMZ00291000
保険適用	平成14年7月
販売開始	平成14年8月
再評価結果公表	昭和55年8月

## 齶窩消毒剤、歯髄鎮痛・鎮静剤 歯科用カルボール

### \*\* 劇薬

貯法： 遮光、気密容器、室温保存

\* 使用期限 3年

### 【組成・性状】

#### 1. 組成

本品100g中次の成分を含有する。

日局	フェノール	80g
日局	グリセリン	10g
日局	精製水	10g

#### 2. 性状

本品は無色またはわずかに赤色を帯びた液で特異なおいがある。本品は光または空気によって徐々に暗赤色となる。本品は皮膚を侵して白くする。

### 【効能・効果】<sup>1)</sup>

齶窩および根管の消毒、歯髄炎の鎮痛鎮静

### 【用法・用量】<sup>1)</sup>

用法に従って、齶窩及び根管の処置後、本剤の適量を滅菌小綿球または綿繊維に浸潤させて窩内あるいは根管に挿入し、仮封する。

### 【使用上の注意】

#### 1. 副作用

##### (1) その他の副作用

過敏症（0.1%未満）：過敏症状があらわれることがあるので、このような場合には使用を中止すること。

#### 2. 適用上の注意

- (1) 腐食力が強いので注意して使用すること。
- (2) 軟組織に対して局所作用を発現するので、口腔粘膜等へ付着させないよう配慮が必要である。  
従って、ラバーダム防湿等を励行すること。
- (3) 本品が口腔粘膜等へ付着した場合は、直ちに拭き取り、微温湯で洗口させること。

また、手指等に付着した場合は、エタノール、グリセリン、植物油または多量の水で洗い流し、適切な処置を行なうこと。

\* (4) 本品は皮膚に付着すると数秒で皮膚が白変する。皮膚等に付着したまま放置すると炎症を起こし、化学的損傷を生じることがあるので、その場合は火傷の治療に準じて処置するか、皮膚科医に相談すること。

本品の取り扱い誤りで容器の液が多量に皮膚に付着した場合に2度の火傷になった例の報告がある。

\* (5) 容器から使用適量をダッペングラスにとり、滅菌小綿球または綿繊維に浸潤させて窩内あるいは根管に挿入する。

(6) 本品は歯科用にのみ使用すること。

#### 3. その他の注意

##### (1) 毒性

フェノール LD<sub>50</sub> 530mg/kg

(ネズミ、経口)

##### \* (2) 腐食性

本品はフェノール80%濃度の液であり腐食性が強く皮膚を侵して白くする。

### 【薬効・薬理】

#### 1. 殺菌消毒作用

フェノール水溶液の殺菌効果は、一般細菌について、0.13%で発育を阻止し、1%では時間をかければ殺菌的で、2%では直ちに殺滅するが、芽胞がある菌は、5%液に24時間浸しても効果はないといわれている。<sup>2)</sup>

## 2. 抗菌作用

本剤の消毒効果を日局歯科用フェノール・カンフルと比較したところ、むしば菌 (*S. mutans*) に対して0.8倍に過ぎなかったが、大腸菌 (*E. coli*) に対しては1.6倍、糸状菌 (*C. albicans*) に対しては2.0倍、さらに黄色ブドウ球菌 (*S. aureus*) に対しては2.2倍の殺菌効果を示した。<sup>3)</sup>

## 3. 作用機序

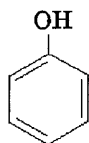
フェノールは強い腐食作用があり、たんぱく質を凝固し、組織を腐食する。5%液でも腐食を起し、その際ははじめ疼痛を感じるが、のち知覚麻痺を起す。

### 【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：フェノール

化学名：Phenol

分子式：C<sub>6</sub>H<sub>6</sub>O (94.11)



性状：本品は無色～わずかに赤色の結晶または結晶性の塊で、特異なにおいがある。本品は光または空気によって徐々に赤色を経て暗赤色となる。本品は皮膚を侵して白くする。

### 【包装】

10 mL 褐色ガラス瓶入

### 【主要文献】

- 1) 第17次医療用医薬品再評価結果  
(昭和55年8月14日薬発第1036号厚生省薬務局長通知)
- \*\*2) 第16改正日本薬局方解説書、廣川書店、東京、2011
- 3) 村上雄次：歯科用消毒剤の微生物発育阻止作用に関する比較研究、日本歯科保存学雑誌、26(1)、284～314、1983

### 【文献請求先】

アグサジャパン株式会社

〒540-0004

大阪府中央区玉造1丁目2-34

06-6768-6344(代表)

\* 製造販売業者及び製造業者

アグサジャパン株式会社 大阪府大阪市中央区玉造1丁目2-34